



ちとせたい

学校だより 第 1 号
平成29年 4月24日
六ヶ所村立千歳平小学校
文責：教頭

新年度にあたって

校長 渋田健太

千歳平にも春の風が吹き始めました。保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。

今年最初の始業式では子どもたちに、違うものと違うものがつなぐと、新しい何かが生まれるという話をしました。人はみな違い、だからこそ面白いということ、だからこそ新しい考え方が生まれるということを伝えました。今年、全校81名の子どもたちが、互いの違いを乗り越えてどんな新しい価値をつくっていくか楽しみにしています。

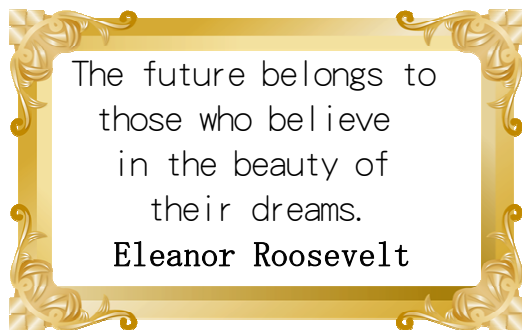
さて、今年度、千歳平小学校の教育活動が目指している3つのことについて、この通信を通じてみなさまにお知らせしたいと思います。

まず、1つ目は「子どもにとって身も心も安全で安心な学校づくり」を進めていくということです。子どもは親の宝物であり、地域の希望であり、未来の社会の担い手です。傷ついたり失われたりすることがあってはならない唯一無二の存在です。本校におきましては、生活における安全、交通安全、災害安全において「命」を最優先した選択と対応を行います。どうか保護者の皆様、地域の皆様方におかれましては、様々な面におきましてご理解とご協力をお願いいたします。

2つ目は「豊かな心と健康な体をはぐくむ学校づくり」を進めていくということです。豊かな心は、様々な体験や人とのふれあい、先人の教えや未知なる世界を紹介してくれる本を読むことなどから育まれます。豊かな心を育てるために人との交流活動や読書を積極的に推進してまいります。また、体づくりについては単に体力をつけるというだけでなく、体全体にかかわる生活習慣や、食習慣についての望ましいあり方について啓発をおこなっていきます。

そして3つ目は「主体的な学びをはぐくむ学校づくり」を目指すということです。かつて多くの知識を引き出しに詰め込み、引き出す際に、その速さや再現性の確かさで学習能力のよしあしを判断していた時代がありました。確かに知識や技能の正確さや再現性は必要な能力ではあります。しかし、これからの学びでは未知の状況にも対応できる、思考力・判断力・表現力の育成が求められています。これからは、学んだことを生かして「何ができるようになるか」という力が必要になります。そのためには、学び方、つまり「どのように学ぶか」が重要になってきます。本校において、学ぶ意欲を高め、学びの質を高めるために「話す・聞く」力を磨き、学びの空間を教室だけではなく広く社会に広げ、開かれた教育課程のなか「対話的な学び」を重視し主体的な学びの実現をはかっていこうと考えています。

エレノア・ルーズベルト（ルーズベルト大統領夫人）は「未来は美しい夢を信じる人のためにある」という言葉を残しています。千歳平小学校の子どもたちには、必ずや光り輝く未来が待っていることを信じて、今年度学校便り第1号のご挨拶といたします。



■ 学校での主なできごとを紹介します ■
【入学式】

待って
いましたよ



6年生に手を引かれて入場した17人の新入生… 聞く姿勢も立派で、校長先生の言葉にも力が入りました。



歓迎の言葉にこたえるように、新入生はハキハキと自己紹介をしました。式の後、高学年が、写真撮影のためにすばやく花を移動してくれました。年度はじめの日に、フレッシュな新入生と頼もしい在校生が躍動し、一年の先行きの明るさが感じられました。

★ お知らせ ★

- 今年も「庄内女性部(4/12)」と「千歳交通安全母の会(4/19)」よりたくさんの雑巾をいただきました。毎日の掃除で大切に使用させていただきます。ありがとうございました。
- 次号では、交通安全教室などの4月行事や、近づく運動会(5/21)について、紹介していきます。
- 裏面に、今年度の職員の一覧がのっています。

■ あとがき ■

毎号、様々な行事や、保護者の皆様に知っていただきたいことを、簡潔にまとめていく予定です。紙面には限りがございますので、すべての活動を紹介するわけにはいきません。つたない紙面ではありますが子どもたちの成長の一端が見えるように心がけていきたいと思っています。よろしくおつきあいください。(教頭)